



よし だ つ う し ん

吉田通信

第86号
【2021年11月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆徹底させることの難しさ◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第86号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

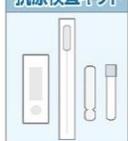
さて、8月に発行いたしました吉田通信でこんなことを書かせていただきました。「新たなコロナ対策として、スタッフの抗原検査を追加することにいたしました。（中略）お客様と接するスタッフが定期的に抗原検査を受ければ、お客様もより安心していただけるのではないかと、この取り組みをスタートいたしました」と。

そして、社内でそれが徹底できていると信じていたのですが……。実は先日、吉田通信読者のお客様（ご住職様）からお電話をいただきました。当社の営業マンに対し、「いいことやってるよね、おたくの社長は」と抗原検査の話を振ってくださったところ、営業マンが「いや、私はしておりません」と言ったそうで、営業マン全員が抗原検査をしていると思われたお客様から「いいことやってると思ったのに、信用できないよ！吉田君のことは」と言われてしまいました。

ただただお恥ずかしい限りで、本当に申し訳なく思いました。すぐに社内を確認したところ、私から「お客様と接触するスタッフは、全員抗原検査を」と出した指示が、どこかの段階で、「希望者全員」という形に変わってしまったのです。現在、吉運堂という組織はパートさんを入れると約200名。やると決めたことを、徹底させることの難しさを痛感いたしました。

正確に伝わりきらなかった原因は、私が口頭でスタッフに伝えてしまったこと。そして、その後の確認をしっかりとらなかったことです。大切な指示は、伝言ゲームにならないようにメール他、文字として残る形で伝える。目の前のスタッフに口頭で伝えるにしても、1回では伝わらないものと

抗原検査キット



考え、繰り返し、繰り返し、繰り返し伝える。そして、いつまでにそれをするか、実際にやったかどうかのチェック、確認も怠らないようにする。

徹底させることは、そう簡単なことではないと思いますが、ここはとても大事なところ。今一度、しっかり取り組んでいきたいと思えます。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。さて、私は以前から背中が凝りやすく、また、猫背が気になっておりました。そんな中、たまたま見たテレビ番組で背中中の筋肉を伸ばすのにストレッチポールが有効というのをやっていました。それが無い人はバスタオルを棒状にしてとのことで、実際にやってみたところとても良かったので、ストレッチポールを購入。今、毎晩、2～3分ですがそれに仰向けで乗り、背中の凝りをほぐしています。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史